

様式7

「学校」部門

河川基金助成事業

「かるべ防災プロジェクト」 報告書

助成番号：2020 - 7212 - 023

岡山県赤磐市立軽部小学校

校長 氏名 岸 本 勝 義

2020 年度

助成番号	助成事業名			学校名		
2020-7212-023	かるべ防災プロジェクト			岡山県赤磐市立軽部小学校		
校長名	岸本 勝義	担当教諭名		多田 理恵		
過去の助成実績	なし あり [助成番号：2019-7211-022 助成事業名：かるべ防災プロジェクト]					
キーワード	「防災教育」		「流れる水の働き」	「共生」	「水生生物」	「治水」
対象児童生徒	小学生（5・6年 18名）					
対象河川名	砂川	活動場所の指定状況		なし 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画（シラバス）における本助成事業の位置づけ						
<p>テーマ：学区の状況に合わせた防災教育のあり方</p> <p>ねらい：自分たちの生活と河川との関わりを知り、水害に対する防災・減災意識を高める。</p> <p>評価の観点：課題に気付く力 課題を解決する見通しをもつ力 調べたことを考察する力</p> <p>活動時期：6月～3月</p>						
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習（理科）	各教科学習（ ）	学校行事	その他（ ）	合計
上記の活動時間数	10時間	25時間	時間	2時間	時間	37時間
支援者等（複数記入可）						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関（博物館、資料館）等		関係団体（漁協、農協）等		企業	その他
支援概要	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社 奥野組 岡山県生涯学習センター 奈義町なぎビカリアミュージアム 					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	学年単位	学校全体	パネル掲示		
安全対策に関する課題						
<ul style="list-style-type: none"> 砂川、今井川ともに、大雨の状況で、水量が変化し、川底や川岸の様子が変わり、気がつかないところで、深みができていることがあった。 ライフジャケットや手袋などは学校に備えてあり全員に装備できるが、ヘルメットまではなかなか調達できないのが、現状である。 						
活動の成果と今後の課題・展開						
<ul style="list-style-type: none"> 臨時休校等によりカリキュラムを大幅に変更せざるをえなかった。教科の内容に関連させながらカリキュラムマネジメントを行い、防災に関する学習を行った。5年生では、環境教育と治水とを関連付け、自分たちの川での体験活動と治水の専門家の方の話の二面から共生について考える学習ができ、効果的な学びを行うことができた。6年生では、理科の大地のつくりや変化する大地をもとに、様々な自然災害について学習し、その後総合的な学習の時間に地域防災について考える時間をもつことで、単なる知識ではなく、思考・判断をする力を育成することができた。 「治水」というとすれば環境を守ることと反してしまう事業の専門家の方々の仕事を学ぶことで、人の命を守る大切な仕事であり、環境を守ることとの両立に尽力している姿勢は子供たちの考えを大きく深めた。 令和3年度は、児童、地域の方、保護者が参加する「かるべ防災教室」を実施する予定である。体験活動を取り入れ、実際の災害時への対応について学ぶ場と位置付けている。 1・2年の他校との川での活動は新型コロナウイルス感染症への配慮から中止した。 						
活動内容と実施時期（主な活動を2つのみ記入）						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録する活動分野	学校部門	教育活動	生物調査系	生き物と環境	6月	
			その他	防災・減災	10月	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P.46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい

アドバンス 活動報告書

(NO. 1)

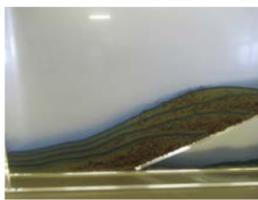
1.助成事業名	かるべ防災プロジェクト	学校名	赤磐市立軽部小学校	助成番号	2020-7212 -023						
2.単元名	理科「大地のつくり」「変わり続ける大地」、総合「くらしと防災」										
3.目標	土地のつくりやでき方を多面的に調べ、土地のつくりや変化について理解し、自然災害の様々な影響や生命を守るためにできることを考えることができる。										
4.実施学年 人数	6年 11人										
5.場所	教室 理科室 なぎビカリアミュージアム 砂川周辺										
6.単元構想 (総時間数)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
六学年・単元目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">理科「大地のつくり」「変わり続ける大地」</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">総合「くらしと防災」</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p>土地のつくりやでき方を多面的に調べ、土地のつくりや変化について理解し、自然災害の様々な影響や生命を守るためにできることを考えることができる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p>理科で学習したことをもとに、学区で起こりそうな災害について調べ、自分たちにできそうなことを考える。</p> </div> </div>										
主な学習活動	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 大地のつくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 崖の様子を観察する。 崖がしまに見える理由を考え、地層について理解する。 ボーリング試料や火山灰などを観察し、地層を構成するものを調べ、それぞれの特徴をまとめる。 </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2 地層のでき方</p> <ul style="list-style-type: none"> 地層のでき方について調べる。 水でできた地層の特徴をまとめる。 火山でできた地層の特徴をまとめる。 化石についてでき方を調べる。 なぎビカリアミュージアムで調べる。 地層のでき方について説明する。 </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3 地層ができるしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 地層のでき方について、予想する。 水槽に水を流し込むモデル実験をして調べる。 地層のでき方についてまとめる。 </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>4 変わり続ける大地</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震や火山噴火による大地の変化について調べる。 大地の変化の原因についてまとめる。 地震や火山噴火による災害について調べる。 災害から声明を守るために、自分たちにできることを考える。 </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習から学区で起こりそうな災害について予想する。 これまで起こった災害について調べる。 災害時に、自分たちでできることについて考える。 災害にできることを発表しあい、発信する。 </div> </div>										
評価項目	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 崖がしま模様に見える理由について考察し、根拠をもとに説明する。 <p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地はれきや、砂、泥、火山灰などからできており、層を作って広がっているものもあることを理解する。 </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 地層は、河川などでの流れる水の働きや火山の噴火によってできることを理解している。 </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>塩生・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 流れる水の働きによってできる地層について、根拠をもとに推論し、確かめる。 <p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 地層のでき方について調べたことを適切にまとめ、記録する。 </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害から声明を守るために自分のできることにについて考察し、考えをもつ。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 大地の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 </div> <div style="width: 20%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に起こりそうな学区の災害から声明を守るために自分のできることにについて考察し、考えをもつ。 </div> </div>										

※申請時に作成したものを基にした実施計画を記載

アドバンス 活動報告書

1.助成事業名	かるべ防災プロジェクト	学校名	赤磐市立軽部小学校	助成番号	2020-7212- 023
---------	-------------	-----	-----------	------	----------------

7.実際にいった単元構成 注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
六 学 年	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">理科「大地のつくり」「変わり続ける大地」</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">総合「くらしと防災」</div> </div>										
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p>土地のつくりやでき方を多面的に調べ、土地のつくりや変化について理解し、自然災害の様々な影響や生命を守るためにできることを考えることができる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p>理科で学習したことをもとに、学区で起こりそうな災害について調べ、自分たちにできそうなことを考える。</p> </div> </div>										
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 18%;"> <p>○しま模様に含まれる土を分類する中で、多く含まれる物が違うことを理解していた。</p> <p>○写真だけではわからないこともあり、実際に見てみたいという児童の感想が多かった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 18%;"> <p>○なぎピカリアミュージアムで河川でできる地層や化石について学習した。</p>    </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 18%;"> <p>○水槽を使用して、模擬的に河川で地層ができる様子を再現した。</p>    </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 18%;"> <p>○地震を想定した災害について考え、避難訓練のことをもとに被害について予想した。</p> <p>○河川についても、堤防が壊れることで、水害につながることもあることを知り、地域によって被害は異なってくることに気がついた。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 18%;"> <p>○学区をフィールドワークすることで、改めて起こりうる災害について考えることができた。</p> <p>○実際の土砂崩れなどの写真から、自分たちが気をつけることなども考えた。</p>  </div> </div>											

8.成果と課題

○実際の地層を調査することで、写真ではわからない気づきがたくさんあった。現在は山でも昔は河川や海だったことが、理屈ではなく、実感をもって理解できた。

○模擬的なモデル実験を取り入れることで、可視化することができ、知識と関連づけて、思考することができた。

○火山活動等、実際の現象を模擬的に学べる教材の工夫が必要である。

アドバンス 活動報告書

(NO. 1)

1.助成事業名	かるべ防災プロジェクト	学校名	赤磐市立軽部小学校	助成番号	2020-7212 -023																																																									
2.単元名	理科「流れる水のはたらき」「川の生き物」、総合「川と環境」																																																													
3.目標	流れる水の速さや量に着目して、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、流れる水の働きと土地の変化について理解し、主体的に課題解決をしようとする態度を育てるとともに防災や環境について考えを深めることができる。																																																													
4.実施学年 人数	5年 7人																																																													
5.場所	教室 砂川周辺 今井側周辺																																																													
6.単元構想 (総時間数)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">六学年 単元目標</td> <td colspan="5">総合「川と環境」理科「川の生き物」</td> <td colspan="6">理科「流れる水のはたらき」</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> 実際の川を観察したり、水質を調べたりする活動を通して、川のきれいさについて考え、美しい川を守るために自分たちができるところをまとめることができる。 </td> <td colspan="6"> 流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、流れる水の働きと土地の変化について理解を深め、主体的に課題解決をしようとする態度を育てる。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主な学習活動</td> <td> 1川の様子を観察する。 ・川について知っていることを整理する。 ・川(今井川)の観察をする。 ・川の役割について考える。 ・きれいさの定義を確認し、学習課題を設定する。(魚がすみやすい環境) </td> <td> 2 薬品による川の水質調査をする。 ・パックテスト2種類を使って、調べる。 ・結果をまとめる。 </td> <td> 3 生き物調べによる川の水質調査をする。 ・川(砂川)の生き物を調べる。 ・生き物を類別する。 ・結果をまとめる。 4 結果をもとに、軽部小のまわりの川のきれいさについて考える。 </td> <td> 4 調査レポートにまとめる。 調査したことをまとめ、全校児童に紹介する。 </td> <td> 1川原の石 ・川の流れる場所の様子を比べ、それらの違いを話し合う。 ・川と川原の石の様子の違いについてまとめる。 </td> <td> 2 流れる水のはたらき ・土の斜面に水を流して、流れる水の働きを調べる。 ・流す水の量を変えて、流れる水の働きを調べる。 ・水の量と流れる水の働きと関係について、 </td> <td> 3 わたしたちのくらしと災害 ・水害への対策について考える。 ・水害を防ぐために働いている方の話から河川管理について考えをもつ。(本時) ・流れる水の働きについて学んだことをまとめる。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">評価項目</td> <td> 知識・技能 ・川の様子を観察し、川の役割を理解することができる。 </td> <td> 知識・技能 ・条件をそろえて水質を調べる調査をすることができる。 思考・判断・表現 ・様々な水質検査の結果を基に、根拠をもとに、きれいさについて説明することができる。 </td> <td> 思考・判断・表現 ・パックテストの結果と関連付けながら、根拠をもとに、きれいさについて説明することができる。 </td> <td> 主体的に学習に取り組む態度 ・きれいな水を守るために自分たちでできることを考え、実行しようとしている。 </td> <td> 知識・技能 ・川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解することができる。 </td> <td> 塩生・判断・表現 ・流れる水の量と土地の様子の変化の関係について考えをもつ。 知識・技能 ・流れる水には、土地を浸食したり、石や土などを運搬したり堆積したりするはたらきがあることを理解することができる。 </td> <td> 思考・判断・表現 ・川の水による災害に対する備えについて考察し、環境保護と防災について考えをもつ。 主体的に学習に取り組む態度 ・自分の地域にある川や川原について、さらに調べようとしている。 </td> </tr> </tbody> </table>											月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	六学年 単元目標	総合「川と環境」理科「川の生き物」					理科「流れる水のはたらき」						実際の川を観察したり、水質を調べたりする活動を通して、川のきれいさについて考え、美しい川を守るために自分たちができるところをまとめることができる。					流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、流れる水の働きと土地の変化について理解を深め、主体的に課題解決をしようとする態度を育てる。						主な学習活動	1川の様子を観察する。 ・川について知っていることを整理する。 ・川(今井川)の観察をする。 ・川の役割について考える。 ・きれいさの定義を確認し、学習課題を設定する。(魚がすみやすい環境)	2 薬品による川の水質調査をする。 ・パックテスト2種類を使って、調べる。 ・結果をまとめる。	3 生き物調べによる川の水質調査をする。 ・川(砂川)の生き物を調べる。 ・生き物を類別する。 ・結果をまとめる。 4 結果をもとに、軽部小のまわりの川のきれいさについて考える。	4 調査レポートにまとめる。 調査したことをまとめ、全校児童に紹介する。	1川原の石 ・川の流れる場所の様子を比べ、それらの違いを話し合う。 ・川と川原の石の様子の違いについてまとめる。	2 流れる水のはたらき ・土の斜面に水を流して、流れる水の働きを調べる。 ・流す水の量を変えて、流れる水の働きを調べる。 ・水の量と流れる水の働きと関係について、	3 わたしたちのくらしと災害 ・水害への対策について考える。 ・水害を防ぐために働いている方の話から河川管理について考えをもつ。(本時) ・流れる水の働きについて学んだことをまとめる。	評価項目	知識・技能 ・川の様子を観察し、川の役割を理解することができる。	知識・技能 ・条件をそろえて水質を調べる調査をすることができる。 思考・判断・表現 ・様々な水質検査の結果を基に、根拠をもとに、きれいさについて説明することができる。	思考・判断・表現 ・パックテストの結果と関連付けながら、根拠をもとに、きれいさについて説明することができる。	主体的に学習に取り組む態度 ・きれいな水を守るために自分たちでできることを考え、実行しようとしている。	知識・技能 ・川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解することができる。	塩生・判断・表現 ・流れる水の量と土地の様子の変化の関係について考えをもつ。 知識・技能 ・流れる水には、土地を浸食したり、石や土などを運搬したり堆積したりするはたらきがあることを理解することができる。	思考・判断・表現 ・川の水による災害に対する備えについて考察し、環境保護と防災について考えをもつ。 主体的に学習に取り組む態度 ・自分の地域にある川や川原について、さらに調べようとしている。
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2																																																			
六学年 単元目標	総合「川と環境」理科「川の生き物」					理科「流れる水のはたらき」																																																								
	実際の川を観察したり、水質を調べたりする活動を通して、川のきれいさについて考え、美しい川を守るために自分たちができるところをまとめることができる。					流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、流れる水の働きと土地の変化について理解を深め、主体的に課題解決をしようとする態度を育てる。																																																								
主な学習活動	1川の様子を観察する。 ・川について知っていることを整理する。 ・川(今井川)の観察をする。 ・川の役割について考える。 ・きれいさの定義を確認し、学習課題を設定する。(魚がすみやすい環境)	2 薬品による川の水質調査をする。 ・パックテスト2種類を使って、調べる。 ・結果をまとめる。	3 生き物調べによる川の水質調査をする。 ・川(砂川)の生き物を調べる。 ・生き物を類別する。 ・結果をまとめる。 4 結果をもとに、軽部小のまわりの川のきれいさについて考える。	4 調査レポートにまとめる。 調査したことをまとめ、全校児童に紹介する。	1川原の石 ・川の流れる場所の様子を比べ、それらの違いを話し合う。 ・川と川原の石の様子の違いについてまとめる。	2 流れる水のはたらき ・土の斜面に水を流して、流れる水の働きを調べる。 ・流す水の量を変えて、流れる水の働きを調べる。 ・水の量と流れる水の働きと関係について、	3 わたしたちのくらしと災害 ・水害への対策について考える。 ・水害を防ぐために働いている方の話から河川管理について考えをもつ。(本時) ・流れる水の働きについて学んだことをまとめる。																																																							
	評価項目	知識・技能 ・川の様子を観察し、川の役割を理解することができる。	知識・技能 ・条件をそろえて水質を調べる調査をすることができる。 思考・判断・表現 ・様々な水質検査の結果を基に、根拠をもとに、きれいさについて説明することができる。	思考・判断・表現 ・パックテストの結果と関連付けながら、根拠をもとに、きれいさについて説明することができる。	主体的に学習に取り組む態度 ・きれいな水を守るために自分たちでできることを考え、実行しようとしている。	知識・技能 ・川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解することができる。	塩生・判断・表現 ・流れる水の量と土地の様子の変化の関係について考えをもつ。 知識・技能 ・流れる水には、土地を浸食したり、石や土などを運搬したり堆積したりするはたらきがあることを理解することができる。	思考・判断・表現 ・川の水による災害に対する備えについて考察し、環境保護と防災について考えをもつ。 主体的に学習に取り組む態度 ・自分の地域にある川や川原について、さらに調べようとしている。																																																						

※申請時に作成したものを基にした実施計画を記載

1.助成事業名	かるべ防災プロジェクト	学校名	赤磐市立軽部小学校	助成番号	2020-7212- 023
---------	-------------	-----	-----------	------	----------------

7.実際にいった単元構成 注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
五 学 年	<p>総合「川と環境」理科「川の生き物」</p> <p>実際の川を観察したり、水質を調べたりする活動を通して、川のきれいさについて考え、美しい川を守るために自分たちができることをまとめることができる。</p>						<p>理科「流れる水のはたらき」</p> <p>流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、流れる水の働きと土地の変化について理解を深め、主体的に課題解決をしようとする態度を育てる。</p>					
	<p>いつも見ている川であるが、生き物・まわりの様子、水の流れなど視点をもって観察すると多くの発見が見られた。</p>   	<p>パックテストを使って水質調査をした。大方がきれいな水という結果になったが、同じ水でも違いが出て誤差についても学んだ。</p>   	<p>砂川に実際に入って、生き物から水質を考えた。魚にも群れを作るもの、岩陰に潜むものなど、すみかや生態が違うことにも気がついていた。</p>   	<p>・調べたことをカードにまとめ、全校に向けて発表した。 ・校長室前の掲示板にコーナーを作り、保護者や来校者にも学習の成果を紹介した。</p>  	<p>○川を再現して、浸食・運搬・堆積の作用を観察した。</p>    	<p>○プロジェクトWETの手法を工夫して、氾濫しないためには、どこにどのようなもので堤防を作ればよいか、模擬実験した。</p>    	<p>○護岸工事を実際に行っている会社の方から、自然保護と防災について学んだ。</p>    					

8.成果と課題

○プロジェクトWETの考えを生かした模擬堤防作りを行うことで、課題意識をもって、治水工事をしている会社の方のお話を行くことができた。模擬堤防作りも単なる思いつきではなく、理科の学習で学んだことを生かして計画しており、効果的であった。

○1学期に環境学習を行うことで、環境を守ることの大切さを学んだ。それに、治水という違う概念を実体験をもって学習することにより、共生の難しさを感じながらも、自分の考えをもち説明することができた。

○校内掲示板を整備したり、砂川水族館を作ったり、また企業や生涯学習センターとタイアップしたりすることで、全校児童や保護者や地域の方にも学習の成果を紹介できた。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2020-7212-023	かるべ防災プロジェクト	岡山県赤磐市立軽部小学校・岸本 勝義



フィールド：赤磐市 今井川

日付：2020・6・1

コメント：

学校の近くにある今井川を観察した。日頃よく見ている川ではあるが、じっくり視点をもってみる事がなかった。

川の流れや護岸の様子など、新たな発見があった。



フィールド：赤磐市 砂川

日付：2020・6・23

コメント：

砂川の生き物調査をした。前の学習でパックテストを使った水質調査をしており、その結果と今回の調査とを関連づけて考えた。



フィールド：赤磐市 軽部小学校

日付：2020・8・25

コメント：

流れる水のはたらきを実際の土の様子とカードを結びつけて学習した。扇状地や三角州など、実際の地形を表したカードを使い、関連づけて学べるようにした。

注) 写真は5～6枚程度(枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。)

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2020-7212-023	かるべ防災プロジェクト	岡山県赤磐市立軽部小学校・岸本 勝義



フィールド：赤磐市 軽部小学校

日付：2020・8・31

コメント：

川が氾濫しないように、どこにどのような材料で堤防を作るかを考え、作成した。理科の学習をもとに予想し、治水工事をしている会社の方からお話を聞いた。ただお話を聞くより、課題意識をもっと学ぶことができた。



フィールド：赤磐市 軽部小学校

日付：2020・9・3

コメント：

治水工事は命を守る大切な仕事であることを学ぶと同時に、環境を守ることも大切であり、共生について常に考えていくことが重要であることを学んだ。



フィールド：赤磐市 軽部小学校

日付：2020・9・3

コメント：

山陽新聞やRSK山陽放送など取材が入り、新しい形の学習として取り上げられた。

注) 写真は5～6枚程度 (枚数が多くなくても、また複数ページになってもかまいません。)

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2020-7212-023	かるべ防災プロジェクト	岡山県赤磐市立軽部小学校・岸本勝義

主な実施箇所	赤磐市 砂川付近
--------	----------

(縮尺は 1/50 万～1/100 万程度)



助成事業の主な実施箇所